

【別添5】

ノウフク・アワード2025審査基準

【その他(特別支援学校、高齢者介護、放課後等デイサービス、ユニバーサル農園、矯正施設、更生保護施設等)が主体となっている取組】

（「実施要領3(1)募集する取組」のうち⑨、⑩の取組）

農福連携等応援コンソーシアムのアイデンティティを「耕すみんなを応援する」とし、これに連動させ、ノウフク・アワード2025では「人を耕す」、「地域を耕す」、「未来を耕す」という3つのキーワードを評価軸に設定し、多様な視点・切り口から評価を行い、90点満点で評価を行う。なお、応募用紙の一部の項目において、字数制限を著しく超過した場合は減点対象となる。

3つのキーワードの視点
「人を耕す」=農福連携等を推進する多様な当事者に光が当たる取組になっているか
「地域を耕す」=地域農林水産業に積極的に関与し、持続可能な地域社会のあり方を発信できるような取組となっているか
「未来を耕す」=農福連携等の新しい価値、物語を発掘し、波及効果のある取組となっているか等

選定基準	評価ポイント	評価点	点数配分
1. 人を耕す	○ 農林水産物等の生産や、これにより対価を得ることで責任感が生まれ、生きがいへとつながっている ○ 農作業等が障害者等の精神面や体力面で良い効果を及ぼしている ○ 障害者等に対して能力や適性に応じた作業選定、リハビリテーション等が行われているほか、農林水産業経営体等との連携を行うことで、農林水産業等の分野で障害者等の活躍の場の提供や創出を図っている ○ 障害者等が作業しやすい環境の整備を行っているほか、農作業等の安全管理や健康管理が適切に行われている ○ 障害者等が農林水産業等に携わることで社会参画につなげ主体的な生活を営むことができている ○ 多様な人々が農福連携に関わることで、お互いを認め合う雰囲気生まれており、立場が違っても理解し、寄り添い、助け合おうとする環境が創出されている	各 評 価 項目5点 ×6項目	30点
2. 地域を耕す	○ 農福連携の取組を通じて、地域農林水産業の維持・発展に貢献している ○ 障害者等が農作業等や、生産した農林水産物等を販売・提供する取組などを通じて、誰もが包摂され活躍できる社会の実現につながっている ○ 障害者等が農作業等を行うことで、地域や地域農林水産業に活気を与える存在となっている ○ 障害者等が農林水産業等に携わることで、多様な人々が活躍できる地域共生社会の実現につながっている ○ 地域の祭りやイベントの開催・参加を通じて地域内外での交流が活発化し、地域コミュニティの維持・発展に貢献している ○ 地域協議会との連携等、農福連携を通じて地域の企業・農林水産業	各 評 価 項目5点 ×6項目	30点

	経営体・JA・社会福祉法人・特別支援学校・地方公共団体等がつながる取組などにより、地域活性化へとつながっている		
3. 未来を耕す	○ 先進性、独創性、話題性がある取組を行っている ○ 地域協議会との連携等、これから農福連携に取り組む団体等の模範となる取組であり、全国への波及効果が期待できる ○ 地域内外との連携を深めることで、持続可能な地域共生社会や多様性のある地域づくりに貢献しており、これからの日本社会に必要な農福連携の形が発信できている ○ 農福連携の取組が地域内に止まらず、地域外の団体等とも連携し、幅広い分野・地域とのつながりを生むことで、新しい農福連携の形が形成されている ○ 環境等に配慮した持続可能な農業等、農福連携に取り組むことで地域農林水産業の未来に明るい兆しが見えている ○ 人の心を動かす農福連携に関するストーリーがあり、企業や国民が応援したいと思わせるような取組である	各 評 価 項目5点 × 6項目	30点